

# 令和8年度

## 医学科授業計画

医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものでなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい。

【開学の祖 ポンペ ファン メールデルフォールトの言葉】

長崎大学医学部医学科

# 目 次

はじめに .....	1
アクセシビリティ .....	2
試験成績の発表 .....	2
追試験に関する取扱い .....	3
共用試験の受験資格及び合格判定基準に関する申合せ .....	4
医学部カリキュラムの概要 .....	6
試験科目一覧 .....	8
平成24～27年度入学者の科目の読替表 .....	10
平成28～29年度入学者の科目の読替表 .....	12
令和3～5年度4年次開講科目名変更に関する読替表 .....	13
平成30～令和2年度入学者の科目の読替表 .....	13
長崎大学ナンバリング・システムについて .....	16
医学部医学科のディプロマポリシーにおける領域ごとの達成レベル .....	18

# はじめに

長崎大学医学部医学科では「大学教育における基本的教養と専門の基盤となる幅広い知識を修得させるとともに、医学に関する高度の専門的知識を修得させ、自立性と社会性を身につけた医師及び科学的創造性をもった医学者を育成すること」を教育目標としております（医学部規程第2条）。

この目標達成のために学科教育では、

- 1) 医学医療の知識と総合的理解（医学を学ぶ）
- 2) 科学性及び医学的創造性の養成（科学を学ぶ）
- 3) 医師としての社会的責任感及び自立性の確立（人間を学ぶ）

を図ることを重視し、この3点をバランスよく併せ持ったカリキュラムが実施されています。一般教育（教養教育）と専門教育を楔形に合わせた6年一貫教育形態が取り入れられており、その概要は次頁以下に示した通りです。

医学医療の知識の修得と総合的理解の点では基礎医学から臨床医学へと展開していく医学教育の順次性を重視した年次別の授業科目が開設されています。即ち、1年次では2年次以降に学ぶ教科の基盤作りが行えるように、「医科生物学入門」をはじめとする医学の基礎科目が開講されます。2年次では人体の構造、生理機能をさらに詳細にかつ統合的に理解し医学の基礎作りが行えるように、3・4年次においては疾患の発生機序、病態の理解を基に診断、治療、予防の原理の理解へと進み、5・6年次でそれまでに得られた知識を臨床実習を通してより実践的なものとして整理体系づけると共に、診療に必要な思考力、判断力及び技術を養成できるように授業科目が配置されています。

特に4年次からは「Problem-based learning (PBL)」が導入され自己問題解決能力の向上を図ると共に、4・5年次の各科ローテーションを軸とする「臨床実習」と5・6年次の選択必修となる「高次臨床実習」を通して、より現場に即した実習内容が提供されることになっています。また、長崎大学医学部のユニークな授業科目として2年次には「医学史・原爆医学と長崎」や、「熱帯医学」と「感染症学」を融合させた「感染症系」が設けられています。さらに、4・5年次の「臨床実習」では「離島実習」があり、実際に五島列島などでの離島医療の現場に接していただきます。それらによって、長崎の歴史と地域性に根ざした上で、日本の医療が担うべき国際的な立場の認識、さらにこれからの社会において必要と思われる医師、医学者の国際的感覚をも養っていただくことが期待されています。

科学性及び医学的創造性の養成については、各教科の授業でも当然行われますが、学生の科学的好奇心の喚起、科学的創造性の育成を図って、3年次に8週間の「リサーチセミナー」の期間が設けられています。この期間は医学部の研究室と熱帯医学研究所の各部門で、各自が選択した研究テーマについて終日研究活動に従事することになります。また、必修選択科目の少人数教育「医学ゼミ」が開始され、特定の分野を深く学ぶことが可能になっています。また、6年次の最終講義として卒前集中講義を設けました。

医学教育においては早い時期での医療への接触が大切だとされています。それを踏まえて、「医と社会」が設けられ、そこでは病院体験や看護体験実習での医療現場への参加や、今日的医療テーマについて専門教員を交えての討論の機会が用意されています。

さらに2・3年次の「医と社会」では、医学・医療の社会に入り自立する為の精神的基盤作りを図れるように医の倫理、医療心理学、医学・医療社会問題等について学習します。一方、4～6年次での臨床実習では、実践的な知識・技術を身に付けるばかりでなく、多くの患者さんに接することによって職業的使命感を養っていただくことが期待されています。

最初に述べた本医学部医学科の教育目標を十分に理解し、「医学を学び」、「科学を学び」、「人間を学び」自立性と社会性を身に付けた医師、科学的創造性を持った医学者に育ていただくことを切望します。

## アクセシビリティ

長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。

アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先

(TEL) 095-819-2006      (FAX) 095-819-2974

(E-MAIL) [support@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:support@ml.nagasaki-u.ac.jp)

## 試験成績の発表

専門教育科目の本試験及び追試験の合否は、各科目別に掲示します。再試験の合否は、原則として掲示しません。また、再試験を行わない科目は、本試験及び追試験の合否も掲示しません。

各科目の最終評価は、前期及び後期の成績発表日以降に、NU-Web 上で確認してください。

各科目の合否及び最終評価に疑義がある場合は、成績発表後、1 週間以内に学務課へ問合せてください。

## 追試験に関する取扱い

平成25年12月18日

医学科会議決定

一部改正 平成30年 9月19日

一部改正 令和 6年 8月21日

長崎大学医学部規程第14条の規定に基づく追試験の取扱いは、下記のとおりとする。

1. 病気その他やむを得ない理由により専門教育科目の定期試験を受けることができなかつた者に対し、教務委員会において審議し、追試験を行うことがある。病気その他やむを得ない理由とは、次の各号のいずれかに該当する場合をいう。

- (1) 病気又は負傷により療養を要する場合（医師の診断書の提出を要する）
- (2) 忌引の場合（会葬御礼のカード等の提出を要する）
- (3) 交通機関の事故・不通の場合（証明できる書類の提出を要する）
- (4) その他、教務委員会が正当と認める理由である場合

対象となるものは、定期試験実施後、すみやかに上記証明書を添えて追試験願を提出しなければならない。

2. 本人の不注意（寝過し、時間割誤認など）によるものについては、追試験は認められない。また教務委員会での審査にて、定期試験が受験可能であったと判断されるものについては、追試験を許可しない。

3. 追試験を受けようとする者は、担当教員の指定する日時に追試験を受験しなければならない。

4. 当該授業科目の追試験は1回限りとする。

5. 追試験の評価は科目責任者の判断にて減点される場合がある。

6. 尚、専門科目の定期試験以外の試験はこの申し合わせ事項を適応せず、追試験実施の有無は各科目責任者の判断によるものとする。

## 共用試験の受験資格及び合格判定基準に関する申合せ

平成 31 年 4 月 17 日  
医 学 科 会 議 決 定  
一部改正 令和 5 年 3 月 8 日  
一部改正 令和 5 年 5 月 17 日

### (目的)

本申合せは、臨床実習に参加する条件として、臨床実習開始年度に実施される共用試験（CBT 及び OSCE）に合格した者であることを定め、共用試験の受験資格及び合格判定基準について、下記のとおり申し合わせるものとする。

### 記

#### (共用試験の受験資格)

- 第 1 共用試験の受験資格は 5 年次への進級判定までに、進級要件に関する申合せに基づき修得すべき全ての単位を修得又は修得見込の学生とする。
- 2 修得見込みでの受験において、修得すべき単位の全てまたは一部を修得できなかった場合は、遡って共用試験の受験資格を失い、全ての共用試験の試験結果は取り消すこととする。

#### (共用試験の合格判定基準)

- 第 2 共用試験の合格の判定は、CBT 及び OSCE の両方が到達基準に達した者に対し行う。
- 第 3 共用試験の評価については、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構が定める全国統一基準により CBT 及び OSCE でそれぞれ行い、到達基準に達しなかった者は、それぞれ再試験を受験する。なお、追・再試験の評価についても、本試験と同様とする。
- 第 4 共用試験の本試験及び追・再試験において、病気、忌引、その他特段の事情なく欠席又は遅刻した者は不合格とする。
- 2 前項の規定により、本試験を不合格となった者は追・再試験の対象としない。

#### (翌年度の共用試験受験について)

- 第 5 第 1 条 2 項により共用試験の受験資格を失った者及び不合格と判定された者は、翌年度 4 年次科目の臨床推論 PBL、診断学を聴講の上、CBT 及び OSCE の両方を受験しなければならない。
- 2 前項の科目について、各授業を行った時数の 3 分の 1 を超えて欠席した者に対しては、CBT 及び OSCE の受験資格を認めない。
- 3 第 1 項の科目を除く 4 年次科目の聴講については、学生からの申出により、各科目責

任者が判断する。

附 則

この申合せは、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 23 年 11 月 16 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 27 年 8 月 5 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 28 年 1 月 6 日から施行する。

附 則

この申合せは、平成 29 年 11 月 22 日から施行する。

附 則

- 1 この申合せは、平成 31 年 4 月 17 日から施行し、平成 31 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 31 年 3 月 31 日現在医学部医学科に在籍している者及び平成 31 年度において第 2 年次に編入学する者についても、改正後の本申合せの規定を適用する。

附 則

- 1 この申合せは、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 5 年 3 月 31 日現在医学部医学科に在籍している者についても、改正後の本申合せの規定を適用する。

附 則

この申合せは、令和 5 年 5 月 17 日から施行する。

# 医学部カリキュラムの概要

(令和3年度以降入学者用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
<b>医と社会</b> (1)医と社会I <b>入門科目</b> (2)医科生物学入門 <b>正常構造と機能</b> (3)人体構造系I (4)生体分子系 (5)発生・組織系 (6)内臓機能・体液系I		<b>医と社会</b> (1)医と社会II <b>入門科目</b> (2)Communication Skill In English (4)医学統計学 (3)医学史・原爆医学と長崎 <b>正常構造と機能</b> (5)神経・感覚器系 (6)人体構造系II (7)動物性機能系 (8)内臓機能・体液系II <b>疾患総論</b> (10)感染系 (11)免疫系 (12)病理総論系 (13)腫瘍系 (14)基礎医学TBL (15)放射線基礎医学 (16)薬理系 <b>疾患名論</b> (17)血液・リンパ系 (18)循環器系 (19)感染症系		<b>医と社会</b> (1)医と社会III <b>疾患各論</b> (2)呼吸器系 (3)内分泌・代謝・栄養系 (4)消化器系 (5)運動系 (6)腎泌尿器系 (7)生殖系 (8)精神系 (9)免疫・アレルギー疾患系 (10)脳・神経系 (11)皮膚系 (12)視覚系 (13)耳鼻咽喉口腔系 <b>診療の基本</b> (14)放射線医学 <b>基礎研究実習</b> (15)リサーチセミナー		<b>医と社会</b> (1)医と社会IV <b>正常構造と機能</b> (2)人体構造系III <b>疾患各論</b> (3)小児系 <b>医学・医療と社会</b> (4)法医学系 (5)衛生学・臨床疫学 (6)公衆衛生学 (7)地域医療学・医療情報学 <b>診療の基本</b> (8)臨床検査医学 (9)外科治療学 (10)救急医学 (11)総合診療学 (12)臨床薬理学 (13)東洋医学 (14)総合病理学 (15)リハビリテーション医学 <b>臨床実習</b> (16)診断学 (17)臨床推論PBL (18)臨床実習 <b>基礎研究実習</b> (19)リサーチセミナー		<b>臨床実習</b> (1)臨床実習 (2)高次臨床実習I		<b>臨床実習</b> (1)高次臨床実習II		卒業試験	
教養教育		医学総合セミナー											
医学英語													

(平成30年度以降入学者用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
<b>医と社会I</b> <b>正常構造と機能</b> 生体分子系 人体構造系I 発生・組織系 内臓機能・体液系I		<b>医と社会II</b> <b>正常構造と機能</b> 人体構造系II 神経・感覚器系 動物性機能系 内臓機能・体液系II <b>疾患総論</b> 感染系 免疫系 腫瘍系 放射線基礎医学		<b>医と社会III</b> <b>疾患総論</b> 病理総論系 基礎医学TBL 薬理系 <b>疾患各論</b> 血液・リンパ系 循環器系 呼吸器系 感染症系 腎泌尿器系 内分泌・代謝・栄養系 消化器系 運動系 生殖系 <b>診療の基本</b> 放射線医学 <b>基礎研究実習</b> リサーチセミナー (発表会は4年次)		<b>医と社会IV</b> <b>正常構造と機能</b> 人体構造系III <b>疾患各論</b> 精神系 免疫・アレルギー系 脳・神経系 皮膚系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 小児系 <b>医学・医療と社会</b> 衛生学・分子疫学 公衆衛生学 地域医療学 法医学系 <b>診療の基本</b> 臨床疫学・医療情報学 臨床薬理学 東洋医学 総合病理学 <b>臨床実習</b> 臨床実習		<b>臨床実習</b> 臨床実習 高次臨床実習I		<b>臨床実習</b> 高次臨床実習II		卒業試験	
<b>学部モジュール</b> 医科生物学入門 医学史・原爆医学と長崎 Communication Skill in English		教養教育											
医学総合セミナー													
医学英語													

# 医学部カリキュラムの概要

(令和4年度以降2年次編入学生適用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
		医と社会Ⅰ 医と社会Ⅱ 入門科目 医科生物学入門 Communication Skill In English 医学史・原爆医学と長崎 医学統計学 正常構造と機能 生体分子系 人体構造系Ⅰ 発生・組織系 神経・感覚器系 人体構造系Ⅱ 動物性機能系 内臓機能・体液系Ⅱ 疾患総論 感染症系 免疫系 病理総論系 腫瘍系 基礎医学TBL 放射線基礎医学 薬理系 疾患各論 血液・リンパ系 循環器系 感染症系		医と社会Ⅲ 疾患各論 呼吸器系 内分泌・代謝・栄養系 消化器系 運動系 腎泌尿器系 生殖系 精神系 免疫・アレルギー疾患系 脳・神経系 皮膚系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 診療の基本 放射線医学 基礎研究実習 リサーチセミナー (発表会は4年次)		医と社会Ⅳ 正常構造と機能 人体構造系Ⅲ 疾患各論 小児系 医学・医療と社会 法医学系 衛生学・臨床疫学 公衆衛生学 地域医療学・医療情報学 臨床検査医学 外科治療学 救急医学 総合診療学 臨床薬理学 東洋医学 総合病理学 リハビリテーション医学 臨床実習 臨床実習 基礎研究実習 リサーチセミナー		臨床実習 臨床実習 高次臨床実習Ⅰ		臨床実習 高次臨床実習Ⅱ		卒業試験	
		医学総合セミナー 医学英語											
		医学総合セミナー 医学英語											
		医学総合セミナー 医学英語											

(平成29年度以降2年次編入学生適用)

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
		医と社会Ⅰ 医と社会Ⅱ 正常構造と機能 生体分子系 人体構造系Ⅰ 発生・組織系 人体構造系Ⅱ 神経・感覚器系 動物性機能系 内臓機能・体液系Ⅱ 疾患総論 感染症系 免疫系 腫瘍系 放射線基礎医学		医と社会Ⅲ 疾患総論 病理総論系 基礎医学TBL 薬理系 疾患各論 血液・リンパ系 循環器系 呼吸器系 感染症系 腎泌尿器系 診療の基本 放射線医学 基礎研究実習 リサーチセミナー (発表会は4年次)		医と社会Ⅳ 正常構造と機能 人体構造系Ⅲ 疾患各論 精神系 免疫・アレルギー系 脳・神経系 皮膚系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系 小児系 医学・医療と社会 衛生学・分子疫学 公衆衛生学 地域医療学 診療の基本 診断学 臨床推論PBL 臨床実習 臨床実習		臨床実習 臨床実習 高次臨床実習Ⅰ		臨床実習 高次臨床実習Ⅱ		卒業試験	
		医学総合セミナー 医学英語											
		医学総合セミナー 医学英語											
		医学総合セミナー 医学英語											

# 試験科目一覧

(一般学生用)

学 年	前 期	後 期
1 年次	医科生物学入門 人体構造系 I 発生・組織系	生体分子系 人体構造系 I 発生・組織系 内臓機能・体液系 I
2 年次	神経・感覚器系 人体構造系 II 動物性機能系	分子遺伝系 感染系 免疫系 腫瘍系 病理総論系 放射線基礎医学 循環器系 血液・リンパ系 感染症系 薬理系 医学統計学
3 年次	生殖系 運動系 腎泌尿器系 呼吸器系 内分泌・代謝・栄養系 消化器系	放射線医学 精神系 免疫・アレルギー系 脳・神経系 皮膚系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系
4 年次	人体構造系 III 臨床検査医学 法医学系 臨床薬理学 小児系 衛生学・臨床疫学 公衆衛生学 地域医療学・医療情報学 総合診療学 東洋医学 救急医学 リハビリテーション医学 外科治療学	診断学
5 年次	卒業試験 (第 1 回)	
6 年次	卒業試験 (第 2 回・第 3 回)	

# 試験科目一覧

(学士編入学生用)

学 年	前 期	後 期
2 年次	医科生物学入門 神経・感覚器系 人体構造系Ⅱ 動物性機能系 発生・組織系	生体分子系 発生・組織系 内臓機能・体液系Ⅰ 分子遺伝系 感染系 免疫系 腫瘍系 病理総論系 放射線基礎医学 循環器系 血液・リンパ系 感染症系 薬理系 医学統計学
3 年次	生殖系 運動系 腎泌尿器系 呼吸器系 内分泌・代謝・栄養系 消化器系	放射線医学 精神系 免疫・アレルギー系 脳・神経系 皮膚系 視覚系 耳鼻咽喉口腔系
4 年次	人体構造系Ⅲ 臨床検査医学 法医学系 臨床薬理学 小児系 衛生学・臨床疫学 公衆衛生学 地域医療学・医療情報学 総合診療学 東洋医学 救急医学 リハビリテーション医学 外科治療学	診断学
5 年次	卒業試験 (第 1 回)	
6 年次	卒業試験 (第 2 回・第 3 回)	

# 平成24～27年度入学者の科目の読替え表 (平成28年度以降入学者カリキュラム1～2年次開講科目)

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者 カリキュラム				
開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数
1年	医と社会	医と社会I	1前	2.5
2年	医と社会	医と社会II	2後	2.0
1年	入門科目	人間生物学(※)	1前	2.0
1年	学部モジュール科目	細胞生物学	1前	2.0
1年	学部モジュール科目	原爆医学概論	1前	2.0
1年	学部モジュール科目	医学は長崎から	1前	2.0
1年	学部モジュール科目	医学統計学	1後	2.0
1年	正常構造と機能	人体構造系 I	1後	2.0
2年	正常構造と機能	人体構造系 II	2前	3.5
1年	正常構造と機能	生体分子系	1前	3.0
1年	正常構造と機能	分子遺伝系(※)	1後	2.0
1年	正常構造と機能	神経・感覚器系I(※)	1後	1.5
2年	正常構造と機能	神経・感覚器系II	2後	0.5
1年	正常構造と機能	発生・組織系I	1後	0.5
2年	正常構造と機能	発生・組織系II	2前	2.5
2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	2.5
1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	1.0
2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II(※)	2前	2.5
2年	疾患総論	感染系	2後	3.5
2年	疾患総論	免疫系	2後	2.0
3年	疾患総論	環境因子系	3前	1.0
2年	疾患総論	腫瘍系	2後	1.0

平成28(2016)年度以降入学者 カリキュラム				
開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数
1年	医と社会	医と社会I	1前・後	2.0
2年	医と社会	医と社会II	2前・後	2.0
1年	学部モジュール科目	医科生物学入門	1前	1.0
1年	学部モジュール科目	医科生物学入門	1前	1.0
1年	学部モジュール科目	医学史・原爆医学と長崎	1前	2.0
1年	学部モジュール科目	医学統計学	1後	2.0
1年	正常構造と機能	人体構造系 I	1前・後	2.0
2年	正常構造と機能	人体構造系 II	2前	3.5
1年	正常構造と機能	生体分子系	1前・後	1.5
2年	正常構造と機能	分子遺伝系	2後	2.0
2年	正常構造と機能	神経・感覚器系	2前	1.5
1年	正常構造と機能	発生・組織系	1前・後	2.0
2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	1.5
1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	3.5
2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II	2前	0.5
2年	疾患総論	感染系	2後	2.5
2年	疾患総論	免疫系	2後	1.5
2年	疾患総論	環境因子系	2後	1.0
2年	疾患総論	腫瘍系	2後	0.5

## 平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者

※      の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成24(2012)～平成27(2015)年度カリの開講年次の要件に含める。

※      の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成28(2016)年度カリの開講年次の要件に含める。なお、開講しない年度の再履修については成績評価のみを実施する。

※      内臓機能・体液系 II の未修得学生は平成28(2016)年度以降カリの内臓機能・体液系も再履修すること。

## 平成28(2016)年度編入学生

※      朱書きの科目については、平成28(2016)年度に別途補講・試験等を行う。

# 平成24～27年度入学者の科目の読替え表 (平成28年度以降入学者カリキュラム3～6年次開講科目)

平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者 カリキュラム				
開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数
3年	医と社会	医と社会Ⅲ	3前・後	2.5
4年	医と社会	医と社会Ⅳ	4前・後	0.5
4年	正常構造と機能	人体構造系Ⅲ	4前	1.0
2年	疾患総論	病理総論系	2後	1.5
2年	疾患総論	基礎医学TBL	2後	1.0
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)Ⅰ	3前	2.5
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)Ⅱ	3後	
4年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)Ⅲ	4前	
3年	疾患総論	病理各論系Ⅰ	3前	4.0
3年	疾患総論	病理各論系Ⅱ	3後	
4年	疾患総論	病理各論系Ⅲ	4前	
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3後	
3年	疾患各論	循環器系	3前	2.5
3年	疾患各論	呼吸器系	3前	2.0
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5
3年	疾患各論	消化器系	3前	2.5
3年	疾患各論	感染症系	3前	2.0
4年	疾患各論	運動系	4前	1.5
3年	疾患各論	腎泌尿器系	3後	1.5
3年	疾患各論	生殖系	3後	2.5
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後・4前	11.5
3年	疾患各論	小児系	3後	1.5
3年	疾患各論	免疫・アレルギー-疾患系	3後	1.0
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	2.5
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.5
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.5
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.5
4年	疾患各論	精神系	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.5
4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5
3年	診療の基本	放射線医学	3後	1.0
4年	診療の基本	臨床検査医学	4後	1.0
4年	診療の基本	診断学	4後	3.0
4年	診療の基本	外科治療学	4前	2.0
4年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	4後	0.5
4年	診療の基本	臨床薬理学	4後	0.5
4年	診療の基本	東洋医学	4後	0.5
4年	診療の基本	総合病理学	4後	1.0
3年	診療の基本	臨床医学TBLⅠ	3前	2.0
3年	診療の基本	臨床医学TBLⅡ	3後	1.0
4年	診療の基本	臨床医学TBLⅢ	4前	1.0
4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	3.0
4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	55.0
5年	臨床実習	高次臨床実習Ⅰ	5後	7.5
6年	診療の基本	臨床総括講義	6前	3.0
6年	臨床実習	高次臨床実習Ⅱ	6前	20.0

平成28(2016)年度以降入学者 カリキュラム					
開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数	
3年	医と社会	医と社会Ⅲ	3前・後	2.0	2.5単位に読替え
4年	医と社会	医と社会Ⅳ	4前・後	1.0	0.5単位に読替え
4年	正常構造と機能	人体構造系Ⅲ	4前	0.5	1単位に読替え
3年	疾患総論	病理総論系	3前	1.0	1.5単位に読替え
3年	疾患総論	基礎医学TBL	3前	1.5	1単位に読替え
3年	疾患総論	薬理系(薬理学実習含む)	3前	1.0	すべて履修することで 2.5単位に読替え
3年	疾患各論	(各科目の薬理系部分を履修)	3前・後		
4年	疾患各論	(各科目の薬理系部分を履修)	4前		
3年	疾患各論	(各科目の病理各論系部分を履修)	3前・後		すべて履修することで 4単位に読替え
4年	疾患各論	(各科目の病理各論系部分を履修)	4前		
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3前	1.5	
3年	疾患各論	循環器系	3前	4.5	2.5単位に読替え
3年	疾患各論	呼吸器系	3前	1.5	2単位に読替え
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5	
3年	疾患各論	消化器系	3後	3.0	2.5単位に読替え
3年	疾患各論	感染症系	3前	1.5	2単位に読替え
3年	疾患各論	運動系	3後	2.5	1.5単位に読替え
3年	疾患各論	腎泌尿器系	3前	1.5	
3年	疾患各論	生殖系	3後	3.5	2.5単位に読替え
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後・4前	11.5	
4年	疾患各論	小児系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	疾患各論	免疫・アレルギー-疾患系	4前	1.5	1単位に読替え
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	4.0	2.5単位に読替え
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	疾患各論	精神系	4前	1.0	1.5単位に読替え
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.0	1.5単位に読替え
4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5	
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5	2科目履修することで 1科目に読替え
4年	医学・医療と社会	地域医療学	4前	0.5	
3年	診療の基本	放射線医学	3前	0.5	すべて履修することで 1科目に読替え
3年	疾患各論	(各科目の放射線医学部分を履修)	3前・後		
4年	疾患各論	(各科目の放射線医学部分を履修)	4前		
3年	診療の基本	臨床検査医学	3後	0.5	1単位に読替え
4年	診療の基本	診断学	4後	2.5	3単位に読替え
4年	診療の基本	外科治療学	4後	1.5	2単位に読替え
4年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	4前	0.5	
4年	診療の基本	臨床薬理学	4前	0.5	
4年	診療の基本	東洋医学	4前	0.5	
4年	診療の基本	総合病理学	4前	0.5	1単位に読替え
4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	2.0	1科目履修で4科目に 読替え
4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	64.0	55単位に読替え
5年	臨床実習	高次臨床実習Ⅰ	5後	12.5	7.5単位に読替え
6年	診療の基本	卒業試験	6前・後		3単位に読替え
6年	臨床実習	高次臨床実習Ⅱ	6前	25.0	20単位に読替え

## 平成24(2012)～平成27(2015)年度入学者

※      の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成24(2012)～平成27(2015)年度カリの開講年次の要件に含める。

※      の開講年次が変更になった科目については、平成28(2016)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成28(2016)年度カリの開講年次の要件に含める。なお、開講しない年度の再履修については成績評価のみを実施する。

# 平成28～平成29年度入学者の科目の読替え表 (平成30年度以降入学者カリキュラム)

平成28(2016)年度～平成29(2017)年度 入学者カリキュラム				
開講 年次	科目区分	科目	受講 学期	単位数
1年	医と社会	医と社会I	1前・後	2.0
2年	医と社会	医と社会II	2前・後	2.0
3年	医と社会	医と社会III	3前・後	2.0
4年	医と社会	医と社会IV	4前・後	1.0
1年	正常構造と機能	人体構造系 I	1前・後	2.0
1年	正常構造と機能	生体分子系	1前・後	1.5
2年	正常構造と機能	分子遺伝系	2後	2.0
2年	正常構造と機能	神経・感覚器系	2前	1.5
1年	正常構造と機能	発生・組織系	1前・後	2.0
1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	3.5
2年	正常構造と機能	人体構造系 II	2前	3.5
2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	1.5
2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II	2前	0.5
4年	正常構造と機能	人体構造系 III	4前	0.5
2年	疾患総論	感染系	2後	2.5
2年	疾患総論	免疫系	2後	1.5
3年	疾患総論	病理総論系	3前	1.0
2年	疾患総論	腫瘍系	2後	0.5
3年	疾患総論	基礎医学TBL	3前	1.5
2年	疾患総論	環境因子系	2後	1.0
3年	疾患総論	薬理系	3前	1.0
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3前	1.5
3年	疾患各論	循環器系	3前	4.5
3年	疾患各論	呼吸器系	3前	1.5
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5
3年	疾患各論	消化器系	3後	3.0
4年	疾患各論	精神系	4前	1.0
3年	疾患各論	感染症系	3前	1.5
4年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	4前	1.5
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	4.0
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.0
3年	疾患各論	運動系	3後	2.5
3年	疾患各論	腎泌尿器系	3前	1.5
3年	疾患各論	生殖系	3後	3.5
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.0
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.0
4年	疾患各論	小児系	4前	1.0
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.0
4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	地域医療学	4前	0.5
3年	診療の基本	放射線医学	3前	0.5
4年	診療の基本	診断学	4後	2.5
3年	診療の基本	臨床検査医学	3後	0.5
4年	診療の基本	外科治療学	4後	1.5
4年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	4前	0.5
4年	診療の基本	臨床薬理学	4前	0.5
4年	診療の基本	東洋医学	4前	0.5
4年	診療の基本	総合病理学	4前	0.5
4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	2.0
4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	64.0
5年	臨床実習	高次臨床実習I	5後	12.5
6年	臨床実習	高次臨床実習II	6前	25.0
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後・4前	11.5

平成30(2018)年度以降入学者 カリキュラム				
開講 年次	科目区分	科目	受講 学期	単位数
1年	医と社会	医と社会I	1前・後	2.0
2年	医と社会	医と社会II	2前・後	2.0
3年	医と社会	医と社会III	3前・後	2.0
4年	医と社会	医と社会IV	4前・後	1.0
1年	正常構造と機能	人体構造系 I	1前・後	2.0
1年	正常構造と機能	生体分子系	1前・後	1.5
2年	正常構造と機能	分子遺伝系	2後	2.0
2年	正常構造と機能	神経・感覚器系	2前	1.5
1年	正常構造と機能	発生・組織系	1前・後	2.0
1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	3.5
2年	正常構造と機能	人体構造系 II	2前	3.5
2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	1.5
2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II	2前	0.5
4年	正常構造と機能	人体構造系 III	4前	0.5
2年	疾患総論	感染系	2後	2.5
2年	疾患総論	免疫系	2後	1.5
3年	疾患総論	病理総論系	3前	1.0
2年	疾患総論	腫瘍系	2後	0.5
3年	疾患総論	基礎医学TBL	3前	1.5
2年	疾患総論	放射線基礎医学	2後	1.0
3年	疾患総論	薬理系	3前	1.0
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3前	1.5
3年	疾患各論	循環器系	3前	4.5
3年	疾患各論	呼吸器系	3前	1.5
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5
3年	疾患各論	消化器系	3後	3.0
4年	疾患各論	精神系	4前	1.0
3年	疾患各論	感染症系	3前	1.5
4年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	4前	1.5
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	4.0
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.0
3年	疾患各論	運動系	3後	2.5
3年	疾患各論	腎泌尿器系	3前	1.5
3年	疾患各論	生殖系	3後	3.5
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.0
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.0
4年	疾患各論	小児系	4前	1.0
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.0
4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	地域医療学	4前	0.5
3年	診療の基本	放射線医学	3前	0.5
4年	診療の基本	診断学	4後	2.5
3年	診療の基本	臨床検査医学	3後	0.5
4年	診療の基本	外科治療学	4後	1.5
4年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	4前	0.5
4年	診療の基本	臨床薬理学	4前	0.5
4年	診療の基本	東洋医学	4前	0.5
4年	診療の基本	総合病理学	4前	0.5
4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	2.0
4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	64.0
5年	臨床実習	高次臨床実習I	5後	12.5
6年	臨床実習	高次臨床実習II	6前	25.0
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後・4前	11.5

# 令和3年度～令和5年度 4年次開講科目名変更に関する読替表

平成28(2016)年度～令和2(2020)年度 入学者カリキュラム				
開講 年次	科目区分	科目	受講 学期	単位数
4年	医と社会	医と社会Ⅳ	4前・後	1.0
4年	正常構造と機能	人体構造系Ⅲ	4前	0.5
4年	疾患各論	精神系	4前	1.0
4年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	4前	1.5
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	4.0
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.0
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.0
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.0
4年	疾患各論	小児系	4前	1.0
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.0
4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	地域医療学	4前	0.5
4年	診療の基本	診断学	4後	2.5
4年	診療の基本	外科治療学	4後	1.5
4年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	4前	0.5
4年	診療の基本	臨床薬理学	4前	0.5
4年	診療の基本	東洋医学	4前	0.5
4年	診療の基本	総合病理学	4前	0.5
4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	2.0
4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	64.0

令和3(2021)年度～令和5(2023)年度開講科目名					
開講 年次	科目区分	科目	受講 学期	単位数	
4年	医と社会	医と社会Ⅳ	4前・後	1.0	
4年	正常構造と機能	人体構造系Ⅲ	4前	0.5	
4年	疾患各論	精神系	4前	1.0	
4年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	4前	1.5	
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	4.0	
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.0	
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.0	
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.0	
4年	疾患各論	小児系	4前	1.0	
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.0	
4年	医学・医療と社会	衛生学・臨床疫学	4前	1.5	科目名称変更
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5	
4年	医学・医療と社会	地域医療学	4前	0.5	
4年	診療の基本	診断学	4後	2.5	
4年	診療の基本	外科治療学	4後	1.5	
4年	診療の基本	総合診療学・医療情報学	4前	0.5	科目名称変更
4年	診療の基本	臨床薬理学	4前	0.5	
4年	診療の基本	東洋医学	4前	0.5	
4年	診療の基本	総合病理学	4前	0.5	
4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	2.0	
4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	64.0	

# 平成30～令和2年度入学者の科目の読替え表 (令和3年度以降入学者カリキュラム1～2年次開講科目)

平成30(2018)年度～令和2(2020)年度以降入学者カリキュラム					令和3(2021)年度以降入学者カリキュラム					
開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数	開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数	
1年	医と社会	医と社会I	1前・後	2.0	1年	医と社会	医と社会I	1前・後	2.0	
2年	医と社会	医と社会II	2前・後	2.0	2年	医と社会	医と社会II	2前・後	2.0	
1年	正常構造と機能	人体構造系 I	1前・後	2.0	1年	正常構造と機能	人体構造系 I	1前・後	2.0	
1年	正常構造と機能	生体分子系	1前・後	1.5	1年	正常構造と機能	生体分子系	1前・後	1.5	
2年	正常構造と機能	分子遺伝系	2後	2.0	2年	正常構造と機能	分子遺伝系	2後	2.0	
2年	正常構造と機能	神経・感覚器系	2前	1.5	2年	正常構造と機能	神経・感覚器系	2前	1.5	
1年	正常構造と機能	発生・組織系	1前・後	2.0	1年	正常構造と機能	発生・組織系	1前・後	2.0	
1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	3.5	1年	正常構造と機能	内臓機能・体液系I	1後	3.0	3.5単位に読替
2年	正常構造と機能	人体構造系 II	2前	3.5	2年	正常構造と機能	人体構造系 II	2前	3.0	3.5単位に読替
2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	1.5	2年	正常構造と機能	動物性機能系	2前	1.5	
2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II	2前	0.5	2年	正常構造と機能	内臓機能・体液系II	2前	0.5	
2年	疾患総論	感染系	2後	2.5	2年	疾患総論	感染系	2後	2.5	
2年	疾患総論	免疫系	2後	1.5	2年	疾患総論	免疫系	2後	1.0	1.5単位に読替
2年	疾患総論	腫瘍系	2後	0.5	2年	疾患総論	腫瘍系	2後	1.0	0.5単位に読替
2年	疾患総論	放射線基礎医学	2後	1.0	2年	疾患総論	放射線基礎医学	2後	0.5	1.0単位に読替
1年	学部モジュール科目	医科生物学入門	1前	1.0	1年	入門科目	医科生物学入門	1前	1.0	
1年	学部モジュール科目	Communication Skill in English	1前	1.0	2年	入門科目	Communication Skill In English	2前	0.5	1.0単位に読替
1年	学部モジュール科目	医学史・原爆医学と長崎	1前	2.0	2年	入門科目	医学史・原爆医学と長崎	2前	1.0	2.0単位に読替
1年	学部モジュール科目	医学統計学	1後	2.0	2年	入門科目	医学統計学	2後	0.5	2.0単位に読替

## 平成28(2016)年度～令和2(2020)年度入学者

※        の開講年次が変更になった科目については、令和3(2021)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は令和3(2021)年度以降カリの開講年次の要件に含める。なお、開講しない年度の再履修については成績評価のみを実施する。

# 平成30～令和2年度入学者の科目の読替え表 (令和3年度以降入学者カリキュラム3～6年次開講科目)

平成30(2018)年度～令和2(2020)年度 入学者カリキュラム				
開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数
3年	医と社会	医と社会Ⅲ	3前・後	2.0
4年	医と社会	医と社会Ⅳ	4前・後	1.0
4年	正常構造と機能	人体構造系Ⅲ	4前	0.5
3年	疾患総論	病理総論系	3前	1.0
3年	疾患総論	基礎医学TBL	3前	1.5
3年	疾患総論	薬理系	3前	1.0
3年	疾患各論	血液・リンパ系	3前	1.5
3年	疾患各論	循環器系	3前	4.5
3年	疾患各論	呼吸器系	3前	1.5
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3後	1.5
3年	疾患各論	消化器系	3後	3.0
4年	疾患各論	精神系	4前	1.0
3年	疾患各論	感染症系	3前	1.5
4年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	4前	1.5
4年	疾患各論	脳・神経系	4前	4.0
4年	疾患各論	皮膚系	4前	1.0
3年	疾患各論	運動系	3後	2.5
3年	疾患各論	腎泌尿器系	3前	1.5
3年	疾患各論	生殖系	3後	3.5
4年	疾患各論	視覚系	4前	1.0
4年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	4前	1.0
4年	疾患各論	小児系	4前	1.0
4年	医学・医療と社会	法医学系	4後	1.0
4年	医学・医療と社会	衛生学・分子疫学	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.5
4年	医学・医療と社会	地域医療学	4前	0.5
3年	診療の基本	放射線医学	3前	0.5
4年	診療の基本	診断学	4後	2.5
3年	診療の基本	臨床検査医学	3後	0.5
4年	診療の基本	外科治療学	4後	1.5
4年	診療の基本	臨床疫学・医療情報学	4前	0.5
4年	診療の基本	臨床薬理学	4前	0.5
4年	診療の基本	東洋医学	4前	0.5
4年	診療の基本	総合病理学	4前	0.5
4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	2.0
4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	64.0
5年	臨床実習	高次臨床実習I	5後	12.5
6年	臨床実習	高次臨床実習II	6前	25.0
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後・4前	11.5

令和3(2021)年度以降入学者 カリキュラム					
開講年次	科目区分	科目	受講学期	単位数	
3年	医と社会	医と社会Ⅲ	3前・後	1.5	2.0単位に読替
4年	医と社会	医と社会Ⅳ	4前・後	2.0	1.0単位に読替
4年	診療の基本	リハビリテーション医学	4前	0.5	
4年	正常構造と機能	人体構造系Ⅲ	4前	0.5	
2年	疾患総論	病理総論系	2後	0.5	1.0単位に読替
2年	疾患総論	基礎医学TBL	2後	1.5	
2年	疾患総論	薬理系	2後	1.0	
2年	疾患各論	血液・リンパ系	2後	1.0	1.5単位に読替
2年	疾患各論	循環器系	2後	2.0	4.5単位に読替
3年	疾患各論	呼吸器系	3前	1.5	
3年	疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	3前	1.5	
3年	疾患各論	消化器系	3前	3.0	
3年	疾患各論	精神系	3後	2.0	1.0単位に読替
2年	疾患各論	感染症系	2後	1.0	1.5単位に読替
3年	疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	3後	1.5	
3年	疾患各論	脳・神経系	3後	1.5	4.0単位に読替
3年	疾患各論	皮膚系	3後	1.0	
3年	疾患各論	運動系	3前	2.5	
3年	疾患各論	腎泌尿器系	3前	1.0	1.5単位に読替
3年	疾患各論	生殖系	3前	1.5	3.5単位に読替
3年	疾患各論	視覚系	3後	1.5	1.0単位に読替
3年	疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	3後	1.5	1.0単位に読替
4年	疾患各論	小児系	4前	2.0	1.0単位に読替
4年	医学・医療と社会	法医学系	4前	1.5	1.0単位に読替
4年	医学・医療と社会	衛生学・臨床疫学	4前	1.0	1.5単位に読替
4年	医学・医療と社会	公衆衛生学	4前	1.0	1.5単位に読替
4年	医学・医療と社会	地域医療学・医療情報学	4前	0.5	
3年	診療の基本	放射線医学	3後	0.5	
4年	診療の基本	診断学	4後	2.5	
4年	診療の基本	臨床検査医学	4前	1.0	0.5単位に読替
4年	診療の基本	外科治療学	4前	2.5	1.5単位に読替
4年	診療の基本	救急医学	4前	0.5	
4年	医学・医療と社会	衛生学・臨床疫学	4前	1.0	0.5単位に読替
4年	医学・医療と社会	地域医療学・医療情報学	4前	0.5	
4年	診療の基本	臨床薬理学	4前	0.5	
4年	診療の基本	東洋医学	4前	0.5	
4年	診療の基本	総合病理学	4前	0.5	
4年	診療の基本	臨床推論PBL	4後	3.0	2.0単位に読替
4・5年	臨床実習	臨床実習	4後、5前・後	64.0	
5年	臨床実習	高次臨床実習I	5後	19.0	12.5単位に読替
6年	臨床実習	高次臨床実習II	6前	25.0	
3年	基礎研究実習	リサーチセミナー	3後・4前	11.5	

平成28(2016)年度～令和2(2020)年度入学者

※      開講年次が変更になった科目については、令和3(2021)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は平成30(2018)年度～令和2(2020)年度カリの開講年次の要件に含める。

※      開講年次が変更になった科目については、令和3(2021)年度以降カリの開講年次において履修し、進級要件は令和3(2021)年度以降カリの開講年次の要件に含める。なお、開講しない年度の再履修については成績評価のみを実施する。

## 長崎大学ナンバリング・システムについて

長崎大学ナンバリング・システムとは、長崎大学で開講されているすべての授業科目（教養教育科目・学部専門科目・大学院専門科目等。旧カリキュラム科目は除く）に対し、授業内容・レベル等に応じて特定の記号や数字やナンバーを付与し、教育課程表やシラバスに記載することにより、体系的な教育プログラムの実現を目指す方法のことです。

### 1 長崎大学ナンバリング・システムの統一フォーマット

長崎大学の全授業科目には、以下のような統一した形式でナンバーが付されています：

AB	CD	1	234	5
学部等 コード	領域/プログ ラムコード	水準 コード	識別 コード	使用言語 コード

通常表示部分

表示例

専門教育科目 医と社会 GEFY 11111

【学部等コード】科目を提供する学部や研究科等を表す2文字の英文字です。医学科は「ME」で統一されています。

【領域/プログラムコード】科目を提供する学部等のカリキュラム体系上の大きな区分を表す2文字の英文字です。医学科は「ME」で統一されています。

【水準コード】科目の授業のレベルを示す1桁の数字です。数字と学年は必ずしも一致するものではありません。識別コードの詳細については表2を参照ください。

【識別コード】「領域/プログラムコード」で大きく区分された科目群を更に識別するための3桁の数字です。学部・研究科ごとに独自の規則で識別コードが付与されています。

【使用言語コード】その科目の授業中に使用される言語を表す1桁の数字です。表3を参照ください。

### 2 長崎大学ナンバリング・システムの特徴

#### 識別コード

識別コードによって、授業科目の履修体系上でのおよその位置づけが一目で識別できます。

### 3 ナンバリング・システムの活用方法

記号や数字の意味することを理解した上で、便覧等に示された学部や研究科ごとの科目ナンバー付与規則を理解してください。慣れてくると、科目ナンバーを見るだけで、カリキュラム体系上どのような位置づけの科目であるか分かるようになります。

識別コードは、体系的に設計してありますので、科目選択や履修順序を判断する際に利用してください。

シラバスに履修の前提とする科目が科目ナンバーで記載されている場合があります。そのときは、NU-Webの検索機能でどのような科目であるか調べてください（平成27年10月以降使用可）。

専門的な学習を行うようになったら、科目ナンバーの学問分類からその科目の学問上の位置づけを把握することで、履修科目の体系に関する理解が更に深まります。

表 2

0 : 卒業要件外科目 (大学入学前に修得する内容の科目, リメディアル科目, 卒業要件外授業科目)	
1 : 学部専門科目 (入門的内容の科目), 教養教育科目 (語学上級科目, 高年次対象科目を除く)	学部科目
2 : 学部専門科目 (基礎的内容の科目), 教養教育科目 (語学上級, 高年次対象科目)	
3 : 学部専門科目 (発展的内容の科目), 教養教育科目 (高年次対象科目)	
4 : 学部専門科目 (卒業論文・卒業研究関連科目, 医・歯・薬5~6年科目)	

表 3

1 : 日本語で行う授業	6 : ドイツ語で行う授業
2 : 英語で行う授業	7 : フランス語で行う授業
3 : 日本語と英語のバイリンガル授業	8 : オランダ語で行う授業
4 : 中国語で行う授業	9 : 日本語と英語以外の外国語のバイリンガル授業
5 : 韓国語で行う授業	0 : (予備)

授業科目区分	科目名	①-⑤ ナンバリング
医と社会	医と社会 I	MEME 21011
医と社会	医と社会 II	MEME 21021
医と社会	医と社会 III	MEME 31031
医と社会	医と社会 IV	MEME 31041
入門科目	医学統計学	MEME 22031
入門科目	医科生物学入門	R8設定中
入門科目	Communication Skill In English	R8設定中
入門科目	医学史・原爆医学と長崎	R8設定中
正常構造と機能	人体構造系 I	MEME 23011
正常構造と機能	人体構造系 II	MEME 23021
正常構造と機能	生体分子系	MEME 23031
正常構造と機能	分子遺伝系	MEME 23041
正常構造と機能	神経・感覚器系	MEME 23051
正常構造と機能	発生・組織系	MEME 23061
正常構造と機能	動物性機能系	MEME 23071
正常構造と機能	人体構造系 III	MEME 33101
正常構造と機能	内臓機能・体液系 I	MEME 23131
正常構造と機能	内臓機能・体液系 II	MEME 23161
疾患総論	感染系	MEME 24011
疾患総論	免疫系	MEME 24021
疾患総論	薬理系	MEME 34041
疾患総論	病理総論系	MEME 24051
疾患総論	腫瘍系	MEME 24101
疾患総論	基礎医学 TBL	MEME 24111
疾患総論	放射線基礎医学	MEME 24161
疾患各論	血液・リンパ系	MEME 35011
疾患各論	循環器系	MEME 35021
疾患各論	呼吸器系	MEME 35031
疾患各論	内分泌・代謝・栄養系	MEME 35041
疾患各論	免疫・アレルギー疾患系	MEME 35051
疾患各論	脳・神経系	MEME 35061
疾患各論	皮膚系	MEME 35071
疾患各論	運動系	MEME 35081
疾患各論	消化器系	MEME 35091
疾患各論	泌尿器系	MEME 35101
疾患各論	生殖系	MEME 35111
疾患各論	視覚系	MEME 35121
疾患各論	耳鼻咽喉口腔系	MEME 35131
疾患各論	精神系	MEME 35141
疾患各論	小児系	MEME 35151
疾患各論	感染症系	MEME 35161
医学・医療と社会	法医学系	MEME 36011
医学・医療と社会	公衆衛生学	MEME 36041
医学・医療と社会	衛生学・臨床疫学	R8設定中
医学・医療と社会	地域医療学・医療情報学	R8設定中

授業科目区分	科目名	①-⑤ ナンバリング
診療の基本	診断学	MEME 37011
診療の基本	放射線医学	MEME 37021
診療の基本	臨床検査医学	MEME 37031
診療の基本	外科治療学	MEME 37041
診療の基本	臨床薬理学	MEME 37061
診療の基本	東洋医学	MEME 37111
診療の基本	総合病理学	MEME 37121
診療の基本	臨床推論 PBL	MEME 37131
診療の基本	救急医学	R8設定中
診療の基本	総合診療学	R8設定中
診療の基本	リハビリテーション医学	R8設定中
臨床実習	臨床実習	MEME 48011
臨床実習	高次臨床実習 I	MEME 48311
臨床実習	高次臨床実習 II	MEME 48321
基礎研究実習	リサーチセミナー	MEME 39011
基礎研究実習	研究室配属実習 I A	MEME 29141
基礎研究実習	研究室配属実習 I B	MEME 29151
基礎研究実習	研究室配属実習 I C	MEME 39161
基礎研究実習	研究室配属実習 I D	MEME 39171
基礎研究実習	研究室配属実習 I E	MEME 39181
基礎研究実習	研究室配属実習 II A	MEME 39191
基礎研究実習	研究室配属実習 II B	MEME 39201
医学総合セミナー	医学ゼミ I	MEME 20011
医学総合セミナー	医学ゼミ II	MEME 20021
医学総合セミナー	医学ゼミ III	MEME 30031
医学総合セミナー	医学ゼミ IV	MEME 30041
医学総合セミナー	医学ゼミ V	MEME 30051
医学総合セミナー	地域医療ゼミ	MEME 20091
医学総合セミナー	国際医療英語 I	MEME 20172
医学総合セミナー	国際医療英語 II	MEME 20182
医学総合セミナー	国際医療英語 III	R8設定中
医学総合セミナー	熱帯医学ゼミ	MEME 20251
医学総合セミナー	国際医療ゼミ I	MEME 20261
医学総合セミナー	国際医療ゼミ II	MEME 20271
医学総合セミナー	グローバルヘルス特論	MEME 20292
医学英語	医学英語 I	MEME 21012
医学英語	医学英語 II	MEME 21022
医学英語	医学英語 III	MEME 21032
医学英語	医学英語 IV	MEME 21042

<医学部医学科のディプロマポリシーにおける領域ごとの達成レベル>

レベル(達成度)	卒後教育	Advanced	Applied	Basic			
<b>I. 豊かな人間性</b>	<b>S</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>	<b>F</b>
長崎大学医学部学生は卒業時に							
豊かな人間性を身につけ、患者の心理に寄り添い、多職種と協調して良好なチーム医療を実践する事ができる。	診療の現場で医師としての態度・価値観・行動を実践できる	診療の現場で医師としての態度・価値観・行動をしめす	医師としての態度・価値観をシミュレーションできる	技能・態度を示すことができる	知識を獲得している	経験する機会はあるが、単位認定には関係ない	経験する機会がない
<b>II. 医学的専門性</b>	<b>S</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>	<b>F</b>
長崎大学医学部学生は卒業時に							
医学・医療の専門的知識を有し、総合的理解に基づいて課題を探究し、適切に解決できる。	実践の場で課題を探究し、適切に問題解決できる	実践の場で課題を探究し、解決への応用ができる	課題解決のための知識を示すことができる	課題解決の道筋を設定できる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	修得する機会がない
<b>III. 科学的思考</b>	<b>S</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>	<b>F</b>
長崎大学医学部学生は卒業時に							
医学研究の必要性を理解し、研究に参加すると共に、論理的かつ独創的な思考ができる。	自主的に研究活動に参加し、常に科学および医学的創造性に基づいた論理的思考ができる	一部自主的に研究計画を立案し、研究活動に参加できる	研究活動に見学、参加できる	基盤となるスキル・態度を示すことができる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	経験する機会がない
<b>IV. 長崎医学に基づく国際性と地域性</b>	<b>S</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>	<b>F</b>
長崎大学医学部学生は卒業時に							
長崎の医学史を理解し、多角的な視点に基づいて国際社会と地域社会に貢献することができる。	国際社会や地域社会の一員としてリーダーシップを発揮できる	国際社会や地域社会の一員としての行動をとることができる。	国際的な活動や地域社会に関する活動に参加する事ができる。	基盤となるスキル・態度を示すことができる	基盤となる知識を説明できる	経験する機会はある	経験する機会がない